
地域づくりの方向に係る現状と課題②

2-すべての人が地域で共に生きていけるまち

- 地域福祉を推進する支え合いのネットワークを広げるとともに、支援を必要とする人に生活状況やニーズに応じたサービスが総合的に提供される仕組みを構築します。
- 高齢者や障害者などが住み慣れた地域で自立して生活できるよう、介護予防や社会参加を促進するとともに、在宅福祉サービスの充実とあわせ、介護施設等の基盤整備を推進します。
- 地域で学びあいや健康づくりが気軽にできる環境を整備します。

(1) 地域福祉の推進

(2) 地域での自立生活支援

(3) 健康

2-1 地域福祉の推進

【政策の概要】

住み慣れた地域でその人らしく日常生活が送れるよう、地域住民、福祉事業者、福祉活動に従事する人などが協力しあいながら福祉サービスを必要とする人を支えていくことが求められています。

すべての人が地域社会を構成する一員であることの意識を醸成しつつ、福祉・保健・医療など暮らしの基盤となるサービスや地域における支え合いのネットワークが充実している福祉のまちづくりを目指します。

【施策の体系】

- ① 福祉コミュニティの形成
- ② 地域ケアシステムの構築【重点施策】
- ③ 福祉サービスの質の向上と権利擁護の推進

【分野別計画】

地域保健福祉計画

【政策の進捗状況】

現状・成果 ・課題	地域住民をはじめとして地域の多様な活動団体、民間事業者などと連携をはかりながら、多様な見守り・支え合い活動が展開されているが、それぞれがどのように連携し、補完しているかといった全体像がイメージしにくいということもあってか、支援サービスの利用者や支援に携わる人たちが、限定的となりがち傾向も見られる。 また、多様化するニーズに合わせて窓口も多様化してきているが、そこで制度の狭間となってしまう人たちの、地域における相談窓口として、社会福祉協議会と連携し、コミュニティソーシャルワーカーの配置を進めている。
環境変化 (政策に影響を与えたもの、今後影響を与えるもの)	平成17年度の介護保険法改正にともなう「地域包括ケアシステム」の提唱。
今後の方向性	・コミュニティソーシャルワーカーと、既存の地域における相談、支援体制との連携を強化。 ・多様な地域ニーズをうまくコーディネートしていけるような専門職の育成を支援。 ・地域包括ケアシステムの充実。

【成果指標】

1	一人暮らし高齢者等アウトリーチ事業による高齢者支援件数(単位:件)					
	孤立しがちな一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の生活状況、健康状態等を把握し、必要なサービスの提供につなげるための訪問活動。					

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				
		22年度	23年度	24年度	25年度	達成率 (対目標)
— 21年度末	↗	/	13,905	17,056	17,540	↗

2	支援困難ケース検討事例の件数(単位:件)					
	保健福祉医療に関わる地域の関係者で構成するケア会議等において、支援困難ケースについて検討した事例の件数。					

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				
		22年度	23年度	24年度	25年度	達成率 (対目標)
163 21年度末	↗	105	166	173	213	↗

3	保健福祉や介護等に関する情報や相談窓口が多様であるとする区民の割合(単位:%)					
	「協働のまちづくりに関する区民意識調査」の割合					

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				
		22年度	23年度	24年度	25年度	達成率 (対目標)
13.2 21年度末	↗	13.2	—	—	15.2	—

2-2 地域での自立生活支援

【政策の概要】

高齢になっても障害があっても、住み慣れた地域で自立した生活を送るためには、利用者の多様なニーズに対応できる在宅サービスの充実とともに、入所型施設等の基盤整備も重要な課題となっています。

利用者の自立支援と社会参加を促進するための取り組みをすすめ、高齢者や障害者など誰もが地域で安心して暮らせる地域社会の実現を目指します。

【施策の体系】

- ① 高齢者・障害者への自立支援の強化【重点施策】
- ② 介護予防の推進
- ③ 社会参加の促進
- ④ 施策サービス等の基盤整備
- ⑤ 生活困窮者等への自立支援の強化

【分野別計画】

地域保健福祉計画

【政策の進捗状況】

現状・成果 ・課題	<p>介護予防については様々な事業が取り組まれ、参加者も増加。自主グループ化も進むなど参加者の意欲も高く、今後ますます重要な事業となっている。</p> <p>障害者の日中活動の場として、各種日中活動系サービスや地域活動支援センターの展開が広がってきており、利用人数も年々増加傾向にある。また障害者の就労支援として、関係機関のネットワークの取り組みや、生活支援と就労支援の一体的な提供を行うなどしている。</p>
環境変化 (政策に影響を与えたもの、今後影響を与えるもの)	<ul style="list-style-type: none">・介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針・改正障害者雇用促進法の施行（平成28年4月：一部公布日又は平成30年4月より）・障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行（一部の附則を除き平成28年4月1日より）
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">・生活支援・介護予防サービスの充実による、重度化の抑制。・障害者就労支援の強化。・見守り支援を絡めた住まいの場の整備。

【成果指標】

1	元気な高齢者の割合(単位:%)					
	65歳以上高齢者のうち、介護保険制度による要介護・要支援の認定を受けていない人の割合。					

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				達成率 (対目標)
		22年度	23年度	24年度	25年度	
83.0 21年度末	↗	82.0	81.2	80.7	80.1	↗

2	障害者就労支援センター及び就労移行支援事業所から一般就労した人数(単位:人)					
	障害者就労支援センター及び就労移行支援事業所から一般就労した人数。					

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				達成率 (対目標)
		22年度	23年度	24年度	25年度	
28 21年度末	50	36	32	31	38	76.0%

3	特別養護老人ホームの定員数(単位:人)					
	特別養護老人ホームの利用定員数					

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				達成率 (対目標)
		22年度	23年度	24年度	25年度	
630 21年度末	830	630	630	630	630	75.9%

4	高齢者や障害者が自立した生活ができ、社会参加しやすいと考える区民の割合(単位:%)					
	「協働のまちづくりに関する区民意識調査」の割合					

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				達成率 (対目標)
		22年度	23年度	24年度	25年度	
11.4 21年度末	↗	11.4	—	—	15.7	—

2-3 健康

【政策の概要】

メタボリックシンドローム対策や生活習慣病の早期発見・早期治療などの二次予防に加えて、生活習慣を見直し、生涯にわたって健康を増進して、疾病の発病を予防する一次予防に重点を置いた対策を推進します。また多様化する新たな保健課題や健康危機管理へ対応するために関係機関と連携強化を図ります。

【施策の体系】

- ① 健康づくりの推進
- ② がん対策の推進【重点施策】
- ③ 多様化する保健課題への対応
- ④ 健康危機管理
- ⑤ 地域医療の充実

【分野別計画】

健康プラン、がん対策推進計画、歯と口腔の健康づくり推進計画

国民健康保険 第2期 特定健康診査・特定保健指導実施計画

【政策の進捗状況】

現状・成果 ・課題	区民一人ひとりが、生涯、健康でいきいきと暮らすためには、健康に対する区民の意識を高め、実践へとつなげていくことが重要である。しかし、生活習慣病の予防をはじめとする健康づくりの取り組みは、その成果が表れるまでにある程度時間がかかる。今後も、引き続き、地域、行政、関係機関、関係団体等が連携して、健康寿命の延伸や地域のつながりの醸成に向けて、数値目標や重点課題の達成に地道に取り組んでいくことが重要である。
環境変化 (政策に影響を与えたもの、今後影響を与えるもの)	高齢化の進行に伴い、がん患者、在宅療養患者、生活習慣病患者が増加する。
今後の方向性	主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防を図るとともに、健康増進のための社会資源や社会参加の機会を確保する。健康寿命を延伸し、健康な高齢者を増やすことによって、少子高齢社会における社会活動の貴重な担い手を増やしていく。

【成果指標】

1	運動習慣のある人の割合(単位:%)					
	「区民健康意識調査」において、一日30分以上、週2回以上の運動を1年以上継続していると回答した人の割合。					

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				達成率 (対目標)
		22年度	23年度	24年度	25年度	
男性20.5 女性17.2 19年度末	男性25.0 女性20.0	—	男性23.5 女性17.9	—	男性25.1 女性19.9	—

2	三大生活習慣病による死亡率(単位:%)					
	区民の死亡原因のうち三大生活習慣病(がん、心疾患、脳血管疾患)による死亡率の割合。					

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				達成率 (対目標)
		22年度	23年度	24年度	25年度	
56.2 21年度末	→ 増加を抑制	55.1	52.8	54.1	53.8	—

3	特定健診の結果メタボリックシンドローム基準に該当する人の割合(単位:%)					
	特定健診(国民健康保険)の結果メタボリックシンドローム基準に該当する人の割合。(平成20年度開始)					

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				達成率 (対目標)
		22年度	23年度	24年度	25年度	
27.2 21年度末	25.0	27.1	27.3	27.0	27.2	—

4	がん検診の受診率(単位:%)					
	区が実施する胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんの検診受診率の平均。カッコ内は、推計により職場検診、個人検診を加味したがん検診受診率の平均					

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				達成率 (対目標)
		22年度	23年度	24年度	25年度	
8.3 21年度末	22.5 (50%)	12.0	13.4	16.5	15.8	70.2%